



## RASAは Study Tour 2026 から新たな活動を始めます！

### ～フィリピンで「学校をつくる」から「ゴミ処理の改善」へ～

建築資材が高騰し学校をつくるのが難しくなったので、それに代わる新しい取り組みでフィリピンを支援できないかを理事会で話し合いました。現地で大きな社会問題となっている環境問題、特にゴミ処理の問題に対して私たちにできることはないかという視点で7月に調査に出かけました。私たちが活動しているカブヤオ市の市長やサウスビル I 小学校の校長先生らと話しあい、こちらから提案した①生ゴミの肥料化、②ゴミの分別・再資源化、という二つの活動から始めることになりました。RASAが続けている貧困児童の家庭への食品配布に加え環境改善という新たなテーマに挑戦します。学生ボランティアには事前研修で環境のことを学習してもらい小学校での授業に反映します。

#### 環境問題への取り組み

フィリピンではゴミの分別が不十分で、生ゴミ、プラスチック、紙類などが混然一体で収集投棄されています。人々のポイ捨てなども多く、河川の汚染やマイクロプラスチックの拡散など、環境への影響が深刻です。環境への関心がまだまだ低くなかなか進まないのが現状のようです。

#### ①生ゴミの肥料化

ゴミの中でも、生ゴミはすぐに腐敗し悪臭を放つやっかいものです。私たちはまず、これを各家庭でダンボール堆肥化し、園芸等に使いえないか調査しました。

ダンボール堆肥とは、ダンボール箱内のココピートともみ殻燻炭の混合物に毎日生ゴミを入れると、数か月で良質な堆肥ができる簡素なシステムです。

調査の結果、資材はすべて現地で調達できることがわかり、すでに現地ボランティアが試行を始めています。



現地で調達した資材

#### ②ゴミの分別・再資源化

生ゴミを除けば、ほかのゴミ、プラスチック、びん、金属、紙等々は、分別さえすればほとんどすべてが再利用できます。私たちは、回収用ボックスを見て回り、適当なサイズで屋外でも劣化しにくいものが複数あることを知りました。



そこで、カブヤオ市役所の環境課を訪問し、日本の分別・リサイクルの現状を説明。なかには、40種類以上の分別でゼロ・ウェイストを目指している自治体があることも紹介して、まずは市内の一部地域から先行的に取り組むことを提案しましたが、担当者は目を丸くしているばかり。

事務所には「ゴミ処理改善10か年計画」が掲げられているものの具体性に欠け実行への壁は厚いと感じました。

(次頁につづく)



環境課のスタッフ(両端)

## 【Study Tour 2026】海外ボランティアを募集中です

■実施時期:2026年2月15日～3月4日(18日間)

■募集人員:20名(先着順)

■応募締切:2025年9月末

■費用:28万円

募集要項



- ・一人一家庭にホームステイしすべて英語で交流
- ・小学校6年生に英語で授業を実施(日本語と環境)
- ・貧困児童の家庭への食品配布と訪問
- ・企業訪問および近隣の観光地訪問
- ・マニラの歴史施設を訪問し平和について考える



## 環境問題への取り組み(つづき)

### 市長・校長は協力・支援を約束

私たちは、まずは学校での段ボール堆肥、資源ゴミリサイクルの取り組みが重要と判断。サウスビル I 小学校の校長先生にお願いしたところ、理解と快諾を得ました。



Alona校長(右から3人目)

その後、市長とのZoom面談も可能となったため校長先生と一緒に市役所を訪れ、市内、一定地域での市民主導の取り組みも念頭に、協力をお願いしたところ、「是非、支援したい！」と力強いお言葉をいただきました。今後は市役所や学校とともに現地の実情に合わせた展開をしていきます。



スクリーンに映るDennis市長、その手前がAlona校長

### 学生ボランティアの環境学習と授業への反映

現地では、環境問題や身近な課題であるゴミ処理の問題について何とかならないかという気持ちはあるものの、現状は厳しく足踏み状態と感じました。環境問題は温暖化やマイクロプラスチック汚染など地球的規模の問題であるとともに、貧しい人々の生活とも深く関係しています。

今回の調査を踏まえ、次の Study Tour の事前研

修の中で、学生ボランティアにはしっかりと学習し、それを反映した授業が構築できるような働きかけが重要と感じました。

より良い研修となるよう企画します。



授業風景 (2025年2月)

## 日系企業訪問

カブヤオ市の隣のカランバ市にあるデンソーフィリピン様を訪問しました。RASAのこれまでの活動と現地とのパートナーシップに共感していただき、学生ボランティアの工場見学を快く受け入れていただくことになりました。



鳥居社長(右端)と松岡副社長(左端)

また同社では本業と並行して先進的な水耕栽培システムの開発・普及に取り組んでおられ、フィリピンの農業分野に貢献する壮大で夢のあるプロジェクトの説明を聞き、一同感銘を受けました。次の Study Tour では工場見学に加えて同社が運営する農場も見学させていただけるようです。

**RASAの事業の二本柱ともいえる貧困児童の家庭への食品配布とStudy Tourは支援者の皆様のご寄付で成り立っており心から感謝申し上げます。**

**RASAの新しい試みー環境問題への取り組みーに対してもどうぞご理解を賜り、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。**

## フェスタジュニーナにチャリティーバザーで参加！

6月29日(日)豊田スタジアムで、在日ブラジル人が、故国偲んで集う大イベントです。中部圏から、遠方からも3,000名以上の人々が家族連れで、集いを楽しむものです。RASAを支援頂いているグループのお誘いで、多くの出店の一つとして参加し、コロッケ、冷しキュウリ、ハーブフランクフルトを販売しました。梅雨のさなかにあって炎暑で、冷しキュウリが早く完売。理事とその家族7名と友人の合計9名が運営し、国際交流を楽しみました。ブラジル人の多くの出店者から、RASAの活動に興味と応援をいただきました。国が異なっても、フィリピンの現状に理解を示し、ご支援もいただきました。



フェスタジュニーナの様子

## 食品と衣類も配布できました！

長年RASAに協力をいただいている聖心教会(豊田市)及び主税町教会(名古屋市)のブラジル人共同体の支援を報告いたします。

各教会の支援者が、大人や子供用の衣類(新品や洗濯済み)を半年間収集し、多量の衣類をご寄付いただきました。理事2名とフィリピン人の友人で送付作業に取り掛かりました。友人のサポートを受けながら、終日かかりで畳んで袋に入れて、専用箱に隙間なく詰めていきました。すると、なんと50kg入り2箱、合計100kgにもなりました！

なんとか航空便で4月末に送ると、1週間かからず予想より早く現地に到着。現地支所では、大人、子供、ベビー、男女のサイズも豊富な衣類をサポートが、配布用の140袋にバランスよく分けました。

家では食事すら満足ではないので、今回の中古の良品衣類配布は、とても喜ばれました。

配布用袋に入りきらない衣類は、自由に持って帰れるように置いたところ、多くの人が必要な服を探し持ち帰り、全て配付されました。



食品と衣料配布に喜ぶ家族

現地では、衣類のと共に文房具、履物等も必要とする児童が多くいます。中古衣類や文房具等のご寄付をお願いいたします。お気軽にお問い合わせください。



届いた衣類箱



支所で衣料の仕分け

5月の2回目配布日(5月30日)に学校で、140家族に定期配布食品とともに衣類も配られました。

公立学校の通学は制服ですが、制服が買えない児童は人々からのお下がりを着て通学しています。



お気に入りを見せ  
喜ぶ児童



大人用Tシャツを  
着た児童

## 2025年度 280家族への毎月2回の食品配布の契約

7月20～26日の出張で、2025年度の食品配布の契約について、確認をいたしました。

- ①年間配布食品の予算は、物価高騰にスライドさせて昨年より17%増とする。
- ②支援対象児童の授業への出欠状況を報告してもらう。
- ③成長記録を取って、体位成長の確認に役立てる。

②と③で支援の効果を把握するため、改めて期限を決め報告することを要請しました。

フィリピンでは日本ではみられない実情があります。  
①就学時にすでに年齢差が2～4年ある。  
②ドロップアウト(中退)し、小学校を卒業していない。  
③小学生でも留年(投稿日数不足や履修不足等)や復学等の理由で同学年で年齢差が大きい。  
ドロップアウトする児童をなくし、全員卒業を目指します。

## 第16回定時総会のご報告

令和7年6月21日(土)に南山大学キリスト教センターに於いて開催されました「第16回定時総会」は会員の皆様のご協力により、滞りなく終了いたしました。理事長以下役員8名と会員2名出席の下、令和6年度の事業と決算の報告及び令和7年度の事業計画及び活動予算、役員交代についての審議を行い、承認されましたことをご報告させていただきます。(令和6年度 活動計算書は次頁に掲載)

### 1. 令和6年度の事業報告

平常な活動に戻りましたが、大幅な円安により、栄養失調児救済事業では支援物資量が減少しました。

#### ① 学校建設事業

円安や建材費の高騰、人件費の上がり、従来の平屋建て3教室では現地教育省から許可が下りず、原則2階建て以上で、平屋の場合においても2階建てに増築可能な構造が条件のため、RASAの経済状況に鑑みて、この事業は当面中止いたしました。

#### ② ボランティア派遣事業

食品配布支援でのボランティア派遣実施に向け準備をし、現地小学校で日本語、栄養、衛生の授業を行いました。これは、令和2年から5年ぶりの再開でした。

#### 【Study Tour 2025】

期 間: 令和7年2月20日～3月4日(13日間)

参加者: ボランティア15名、スタッフ3名

※ボランティア派遣事業費用 2,857,600円

#### ③ 栄養失調児救済事業

「命の確保」として飢餓を救うため支援を継続し、現地では支所責任者を中心に、周りの方々から自発的な労力の提供をしていただき、協力のネットワークが出来ています。

支援対象: 140名 学校が選出した栄養失調児  
幼稚園～小学6年生(7学年)

年2回の選出で延べ280名が対象

配布食品: 1回につき、米 5kg、缶詰 0～4缶、  
卵 6～10個、粉ミルク 4～7袋、  
ヌードル 1～2袋

クリスマス時にパスタセットを別途支給

配付頻度: 毎月2回

通年配布(休校中2ヶ月間も実施)

費 用: 4,630,176円(支所費用を含む)

### 2. 令和7年度の事業計画

#### ① 学校建設事業

前年度以降実施は不可能な状態ですので、今年度も取り掛かれる見通しは立っていません。

#### ② ボランティア派遣事業

昨年度に準じて、今年度もボランティア派遣を行う予定です。

#### ③ 栄養失調児救済事業

栄養指導をしながら、支援を継続していきます。

年間予算 470万円程度

### 3. 役員交代

◆ 退任一理事 藤井 典夫

監事 瀬古 和樹

◆ 新任一理事 貴船 貢

監事 藤井 典夫

円安の影響を大きく受けておりますが、皆様からのご支援で活動が継続できております。今後も、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願いいたします。



定時総会の様子

### 新任理事挨拶

貴船 貢

昨年の11月にRASAに入会して今年2月のStudy Tour2025に初めてスタッフとして参加しました。コロナ禍による4年のブランクがあったにもかかわらず開催できたのは、RASAと現地との強いパートナーシップがあったからです。それをフィリピンに行って深く理解できました。これまでRASAで活動してこられた皆様に敬意を表するとともに、パートナーシップを最大限に活用してStudy Tourをつづけ更に質の高いものにしたいと考えています。とはいえRASAをとりまく環境はメンバーの高齢化など厳しい状況にあります。守るべきところは守りつつ新しいやり方を理事会に提案できるよう、微力ながらお役に立てればと思っております。RASAが活動を継続しさらに発展していくことこそ支援していただいている皆様の期待に応えることと信じております。

# 令和6年度「特定非営利活動に係る」活動計算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

単位：円

科 目	前期決算	当期決算	備 考
<b>(資金収支の部)</b>			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入	<b>205,000</b>	<b>225,000</b>	
1) 受取正会員会費	120,000	130,000	会員年会費
2) 受取賛助会員会費	85,000	95,000	〃
2 事業収入	<b>0</b>	<b>3,108,000</b>	
1) ボランティア派遣事業収入	0	3,108,000	
3 補助金等収入	<b>200,000</b>	<b>392,000</b>	
1) 受取助成金	200,000	200,000	東海地域NGO活動助成金
2) 受取補助金	0	192,000	ふるさと納税を活用した名古屋市NPO活動補助金
4 寄付金収入	<b>5,095,598</b>	<b>6,162,985</b>	
1) 受取寄付金	5,095,598	6,162,985	
5 雑収入	<b>691</b>	<b>12,818</b>	
1) 受取利息	15	896	銀行利息
2) 雑収入	676	11,922	
経常収入合計	<b>5,501,289</b>	<b>9,900,803</b>	
II 経常支出の部			
1 事業費	<b>4,446,410</b>	<b>7,487,776</b>	
1) 学校建設事業	0	0	
2) 栄養障害児救済事業	4,446,410	4,630,176	
3) ボランティア派遣事業	0	2,857,600	
2 管理費	<b>1,967,027</b>	<b>2,204,550</b>	
1) 人件費	<b>727,250</b>	<b>803,275</b>	
給与 手当	727,250	803,275	パート勤務スタッフ1名雇用
2) その他経費	<b>1,239,777</b>	<b>1,401,275</b>	
会議費	10,657	32,659	会議関連費用
旅費交通費	28,155	63,738	国内出張費
賄費	51,647	181,538	
通信運搬費	232,443	150,711	郵送料等
事務用品費	177,185	223,171	
修繕費	128,580	79,660	
水道光熱費	19,220	14,930	灯油
賃借料	458,000	444,000	駐車場他
印刷製本費	44,473	22,195	
諸会費	35,152	41,000	
租税公課	27,519	36,317	収入印紙等
支払手数料	0	47,515	
雑費	26,746	63,841	振込手数料等
経常支出合計	<b>6,413,437</b>	<b>9,692,326</b>	
経常収支差額	<b>△912,148</b>	<b>208,477</b>	
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
IV 経常外費用			
1) 過年度損益修正損	0	0	
経常外費用計	<b>0</b>	<b>0</b>	
当期収支差額	<b>△912,148</b>	<b>208,477</b>	
前期繰越額	<b>7,060,622</b>	<b>6,148,474</b>	
次期繰越収支差額	<b>6,148,474</b>	<b>6,356,951</b>	

## 手を貸す運動Ⅱの佐藤正明様 千鶴子様ご夫妻 長年のご支援、本当にありがとうございます

2014年サウスビル I 小学校に給食支援を開始するにあたり、資金の工面を付けるために「手を貸す運動Ⅱ」へ、支援をお願いに行きました。それまでは民家を借りて極貧児童50人対象を、学校長の理解と協力を得て、2倍の100人を支援するプロジェクトです。東京町田市の教会で、説明会を開催。すぐに団体から快諾いただき、しかもその後のRASAの最大の支援者として、今年で11年間ご支援を継続いただいております。

この4月に、代表から団体の活動を閉じることになったと報告がありました。95歳と83歳のご夫妻が、長年海外の若者の支援活動をされ、「今回健康上の理由で団体は閉じるけど、有志として自主活動はできるだけ続けていきたい。」との有難い御決意をいただきました。

また、「人間は必ず老いて体力が落ちても、心だけは成長できる。」との御決意で、活動を継続するとの生き方を伺いました。RASAは理事の平均年齢が80歳に近いのですが、佐藤様の姿勢に活動継続と活動への前向きな姿勢こそが大切と気づきをいただき、励まされました！

団体閉鎖後翌月に佐藤様から大きな支援を受けました。更に、出張前に奥様の師弟を御紹介いただきました。彼は今年3月に支援先のサウスビル I 小学校近郊の会社に着任され、現地へ訪問のお招きをいただき面談できました。台風のため、ご一緒に支援の学校長との面談は実現しませんでした。次回出張時に学校へご同行いただくことも考慮しております。彼は、「今後日系企業にも声掛けしてRASAの紹介をしたい。」と支援のお言葉をいただきました。

RASAは活動開始以降25年となり、定年退職後活動を始めた理事メンバーも高齢の問題を抱えていますが、まだまだ佐藤ご夫妻を見習って頑張らなければならないと思う次第です。



佐藤様現地視察  
2017年2月



佐藤ご夫妻

### 今後の活動予定

- 10月～1月 Study Tour事前研修会(全4回を予定)
- 10月19日 チャリティーバザー 場所:カトリック平針教会
- 10月26日 チャリティーバザー 場所:カトリック南山教会
- 12月上旬 クリスマスチャリティーバザー参加 場所:南山大学 キリスト教センター

## 会員が減少傾向です！活動を支援いただける方、法人・団体を募集しています！

資料をお送りいたしますので、RASA-Japan事務局までご連絡ください。

※「遺贈によるご寄付」、「相続財産のご寄付」は、相続税が免除されます。お志のある方はご連絡ください。

## RASA-Japanは皆様の会費と寄付金で運営されています



認定 特定非営利活動法人  
RASA-Japan  
理事長 藤井 忠子

〒468-0014 愛知県名古屋市天白区中平2-2627  
TEL/FAX 052-803-1649  
E-mail info@rasa-japan.com

郵便振替：口座番号 00890-4-31185  
受取人 特定非営利活動法人RASA-Japan  
三菱UFJ銀行：平針支店 普通 0037025  
トクテイヒエイリカソドウホウジンラサジャパン

クレジット決済はこちら



ホームページ  
<http://rasa-japan.com>

